

第2回 旧富田幼稚園の利活用に係る意見交換会概要【鶴沢自治会】		
日時	令和5年7月28日（水） 午後6時30分～8時	
開催場所	旧富田幼稚園	
出席者	鶴沢自治会より意見交換メンバー 3名 財政課長、財政課長補佐、財政課主査	
内容	1 開会 2 旧学校施設等利活用の現在の状況 3 前回のふりかえり 4 旧富田幼稚園の利活用について （1）消防屯所について （2）コミュニティスペースについて （3）利活用に係る民間提案について 5 意見交換 6 その他	
主な意見の概要		
テーマ	地 域	町
旧富田幼稚園の利活用について (1)消防屯所について		消防団では、現在、駅前コミュニティセンター（以下、「駅前コミセン」という。）と併設している3分団1部1班屯所を園庭の一角に移転できないか検討されると聞いている。
旧富田幼稚園の利活用について (2)コミュニティスペースについて		鶴沢地区のコミュニティスペースとして活用されている駅前コミセンは、年間で50件程度使用されているようであるが、駐車場がなく利便性に問題があると以前の意見交換会で伺っている。 そこで、前回は2階のリズム室をコミュニティスペースとして活用できると良いのではないかと考えたが、2階への昇降やトイレの利用等の利便性を考慮すると1階教室の一部をコミュニティスペースとして利用する方が、より利便性が向

旧富田幼稚園の利活用について (2)コミュニティスペースについて		上し、一層効果的な活用につながるのではないかと。 また、駅前コミセンについても旧富田幼稚園の一部をコミュニティスペースとして活用することで、利用形態や人数等が変化していくことも想定され、消防屯所も移設の方向となった場合は、その時期によっても更に変化するであろうことも考慮しながら、今後の在り方を検討していきたい。
旧富田幼稚園の利活用について (3) 利活用に係る民間提案について		園舎については、以前は解体を含めての利活用もあり得るとの方向性を伝えたが、本格的な改修を行っていることや、内覧に来た企業等からも建物をそのまま使用したいとの意見もあったことから、現状にて貸付けする方針とし、地域活性化（地域コミュニティスペースとしての一部開放や地域住民との交流イベントの開催）などの条件を付したうえで、民間企業の公募に向けた方針を検討していきたい。
意見交換	旧福田小学校、旧飯坂小学校のグラウンドの整備の予定はあるのか。	整備のための予算は確保しており、既に学校教育課より工事発注されている。
	子ども向けのランニング教室をしているが、グラウンドは雑草が増えており、凹凸もあるため、整地してもらえるのはありがたい。	小学校として利用されているときのような頻度での整備は難しいが、今後も運動できる施設として継続して整備していくようになると思う。
	旧富田小学校が株式会社いちいによる屋内陸上養殖事業として活用されることを楽しみにしている。 しかし、以前の説明では6月頃から工事が始まるとの内容であったが、未だその様子はない。事業が遅れているのか。	そのようである。進捗については広報誌等で周知していきたいと考えている。

主な意見の概要		
テーマ	地 域	町
意見交換	コミュニティスペースとして活用するには、企業がどの程度開放してくれるかで変わってくるということか。	そうである。公募から審査を経て契約候補者となった企業が利用の内容を決定していくにあたり、契約締結の前に地域の皆様への説明会を開催することも条件付けしようと考えている。 その説明会にて、事業概要やコミュニティスペースの開放を含めた地域貢献に関することについても説明し、地域の方々の理解を得たうえで実際に利用する仕組みとする予定である。
	屯所についても老朽化は進んでいる。可能であれば場所も離れていない旧富田幼稚園に移転して欲しい。	
	駅前コミセンを解体して、そこに屯所を建替えれば良いのではないかとも思ったが、がけ地に指定されており建替えが難しいらしい。特にあの建物は瓦も含めて屋根の老朽化が進んでいる。 旧富田幼稚園を民間企業が利活用しコミュニティスペースとして一室が使えるようになり、更に敷地内に消防屯所ができるのであれば利用価値も高まるのではないか。	駅前コミセンについては、老朽化のため消防屯所と併せて旧富田幼稚園に移転するという考え方ではなく、民間企業によって解放される旧富田幼稚園をコミュニティスペースとして活用しながら、同時に、駅前コミセンも並行して利用できる状況を当面継続し、経過を見ながら駅前コミセンの今後の在り方の方向性を決めていくこととしたい。
	実際に旧富田幼稚園を使いたいと要望している企業は何件あったのか。	4、5件程度問い合わせはあった。
	町内にある高齢者や子育て支援を行う NPO のような団体に施設を使ってもらえると良いのではないか。また、その場合は避難所のような役割も担えるのではないか。	公募の方法によっては、そのような活用の可能性もある。条件が合えば無償で貸付けることも可能となる。企業等も利用しやすくなっていると考えている。

主な意見の概要		
テーマ	地 域	町
意見交換	町外からも問い合わせあるのか。	ある。昨年、小中学生にアンケート調査を実施した。町のホームページに掲載したその結果を見て共感し、川俣町への事業所展開を積極的に考えているという企業もあった。 公募の際は、多くの企業の可能性を求める方向で行いたいと考えている。
	川俣町には宿泊施設がないのは問題だと感じる。当町に用事があってきたとしても飯野町に泊まる方もいると聞く。コスキン等で多くの方が川俣町に来てくれているのだから、そういった施設を整備できたらよいと感じる。	公共施設では合宿所やおじまふるさと交流館があるが、個人で宿泊を目的とした「旅館」や「ホテル」になるとなかなか見つからないということがある。 こうしたニーズの視点から、ホテル、旅館のような個室の宿泊施設で、合宿所やおじまふるさと交流館と差別化して、事業化を図る企業の構想に合致してくれればと感じる。
	宿泊施設をやりたいという企業からも声はあるのか。	旧富田幼稚園でやりたいという話はない。小学校のような大きな施設で、トイレなどの改修部分が少ない施設でならできるのではないかという話はあった。
	おじまふるさと交流館の利用者はいらるのか。	結構いると聞いている。

主な意見の概要		
テーマ	地 域	町
意見交換	先日家族も利用した。週末などは利用者がいると聞いた。	
	合宿所の空調が壊れているとも聞いていたが。	復旧は終わっていると思う。体育館もLED 化するなど合宿所と一体的に使う施設の整備は続けている。
	旧幼稚園を使いたいという企業に対し募集していくとのことだが、具体的にはどういうことなのか。	募集要件を整理して、十分な募集期間を設け、企業独自の利活用案を検討し計画してもらい、プレゼンテーションにより、最も有効な利活用方法を示した企業を契約の優先者に定め、更に、町との具体的な利活用方針を確認のうえ、その方針を地域の皆様に説明し、正式な契約に至ることとなる。
	今日の出席者は説明を聞いたからわかるが。多くの町民は役場で何をやっているかはわからないのではないか。	意見交換会の欠席者に対しては、本日の内容をまとめた資料を送付し共有する。その後、広報誌等により町の方針を周知し、町民の皆様からは、パブリックコメントの方法で、広く意見を募集する期間を設けることとする。こうした周知の過程を経たうえで、民間提案による公募を行うよう考えている。 また、旧富田幼稚園については、消防屯所移転の有無の兼合いがあるので、そちらが決定してからお知らせすることとなるため、１０月号あたりでの広報誌掲載になるのではないかと考える。

主な意見の概要		
テーマ	地 域	町
意見交換	旧富田幼稚園の敷地のどこに屯所を作るのかなど考えはあるのか。	実際に移転整備することになれば、東側の町道（油田餅石線）との接続や園庭南東部フェンス門扉部の町道拡幅等、安全と有効性を図った配置を考えていかなければならないと考える。
	駅前コミセンはどうなるのか。消防屯所が移転するのであれば屯所部分を壊せば駐車場にできるのではないか。	施設の切り離しは困難なのではないかと感じるが、今後の施設の利用状況や旧富田幼稚園を利活用する企業のコミュニティスペースとしての解放の仕方にもよることから、利活用されてからの状況を踏まえながら定期的に見直しをしていく必要があるのではないかと考える。
	屯所も消防団員が減って統合している場所などもあるため施設数も見直していく必要があるのではないかと感じる。	そういった場合は優先順位をあげて整備されているのではないかと聞いている。屯所も含め公共施設数の最適化も町の課題であると認識している。